

東部営農経済センターだより 7月号

JA静岡市東部営農経済センター TEL: 245-7527

センター長	茶	苺・水稻・蔬菜	果樹	営農生活支援購買	購買
瀧口信也	折山	深井・片井	榮	大越	酒井・萩原・森川・鷺巣

「農業用廃プラスチック回収」のお知らせ

- ★ 農業用塩化ビニール・農業用ポリ関係の回収を本年も実施致します。
- ★ 詳しい内容については、部農会回覧をご確認ください。(8月上旬回覧予定)
- ⇒ ご希望の方は、委任状(申込書)を8月31日(火)までに最寄りのJA支店又は、東部営農経済センターへご提出ください。
- 注意：毎年、回収品の申請違いがありますので種類の確認をお願いします

除草剤キャンペーン

9月末日まで

ザクサ液剤
2ℓ ⇒ ¥7,350
5ℓ ⇒ ¥18,144

タッチダウンIQ
6ℓ ⇒ ¥10,800

ラウンドアップマックスロード
5.5ℓ ⇒ ¥11,800

畑のおともに
JAのドリンク

レモン味もおすすめです!

ポストニックウォーター

¥1,944 (税込)
1ケース 24本
素早い水分補給が可能なスポーツドリンクです。






《注意!!》致死率20% マダニの感染症(SFTS)が市内で初めて発生!

「SFTS」の感染者は増加傾向にあり、令和3年6月に静岡市内でも初の感染者が発生しました。マダニに噛まれ、発熱や吐き気等、体調不良があった際は、必ず病院に行き、マダニに噛まれた事を伝えて下さい。対応を誤ると本人のみならず、家族の命にも関わるものをご理解願います。農作業でマダニに噛まれる可能性は高いので、草むらや畑に入る場合は肌の露出を抑えるよう、お願いします。



有害鳥獣捕獲事業実施のお知らせ

実施期間：令和3年 10月31日迄実施
 実施場所：東部ブロック管内の山間地（鳥獣保護区・銃猟禁止区域を含む）
 注意事項：農作物の被害があった場合は、営農経済センターまでご連絡下さい。
 ※実施期間中の入山につきましては、各自で安全策をして頂くようご協力をお願いします



組合員大会(鮎釣り大会)の中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため鮎釣り大会を中止させていただきます。

柑橘

状況：7月となり摘果作業を始めている頃と思います。園地により着果量にバラつきがあると思いますので着果量を確認しながら摘果するようにしてください。摘果する果実はスソなり、内なりの果実を重点的に行い、肥大促進させるようにしましょう。
 また、日中の気温がかなり高いので体調管理に注意して作業に当たるようにしてください。

防除

【温州みかん】

散布時期	対象病害虫	使用農薬名	希釈倍数	使用基準
8月中旬	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回
	チャノキイロアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	2,000倍	14日-3回
		又は エクシレルSE	5,000倍	前日-3回

*コナカイガラムシの発生園ではスプラサイド乳剤40劇を1,500倍で散布してください。

注意：収穫の早い極早生の黒点病防除は、8月中旬までに必ず散布してください。

【中晩柑】(スルガ・デコポン・はるみ・ポンカン)

散布時期	対象病害虫	使用農薬名	希釈倍数	使用基準
8月中旬	黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回
	チャノキイロアザミウマ	エクシレルSE	5,000倍	前日-3回

※中晩柑の黒点病防除剤(ペンコゼブ、ジマダ1他)、IMダ17水和剤)は収穫前の基準日数は、90日になりますので散布日に注意して下さい。

※台風の襲来が予想される場合は、直前にバイカルティ 1,000倍加用したコサイド 3000 2,000倍の散布を行って下さい。

● スルガエレガントの実肥

スルガエレガントは6月・7月・8月の果実肥大で収穫時の階級が決まります。この肥大期の施肥がポイントとなります。果実肥大促進に必ず施肥を行ってください。

8月下旬 スルガペレット4袋/10a

● 品質向上対策

【マルチの被覆】

夏場に水分ストレスを与えることにより、糖度上昇、着色促進が期待できます。天候に左右されない高品質な果実を生産できるように是非取り組んでください。

被覆方法	被覆時期	被覆目的
全面マルチ	青島 8月上旬~8月中旬	着色・糖度上昇
部分マルチ	早生 8月上旬	着色促進
	青島 8月下旬~9月上旬	収穫早期化

落葉果樹

作物名	散布時期	対象病害虫	使用農薬名	希釈倍数	使用基準
キウイ	8月中旬	果実軟腐病	トップジンM水和剤	1,000倍	前日-5回
柿	8月上旬	フジコナカイガラムシ カキハタムシガ	モスピラン顆粒水溶剤劇	2,000倍	前日-3回
梨	8月上旬	ハマキムシ・シンクイムシ類	アグロスリン水和剤劇	1,000倍	前日-3回

水稻

～トビロウンカ～

今のところ、東部管内の圃場調査でトビロウンカは確認されていませんが、今後も引き続き、注意し、基本の本田防除2回をしっかりと行ってください。

※薬剤散布は、トビロウンカの寄生する株元に薬剤が十分に届くように散布する。

⇒ ウンカに効果の高い新剤のご紹介

- ・エミリアフロアブル 1,000倍ー収穫7日前（ウンカ・カメムシ・ツマグロヨコバイ）
- ・エクシードフロアブル 2,000倍ー収穫7日前（ウンカ・カメムシ・ツマグロヨコバイ）

1) 穂肥の施用

- ① 中干し後、穂肥を施用し3～5日間湛水する
- ② 穂肥施用時期になっても葉色がさめない場合は減肥する
- ③ 一発肥の場合、穂肥時期の3日前に入水して肥料を効かせる

6/1 田植

品種	穂肥時期	出穂期
ひとめぼれ	7/17	8/6
コシヒカリ	7/24	8/9
あいちのかおりSBL	8/3	8/24
きぬむすめ	7/27・8/3	8/21
ヒノヒカリ	8/1・8/11	8/22
葵美人	7/28・8/4	8/21

2) 水管理

- ① 出穂25日～10日前は3日おきに湛水と落水を繰り返す（間断かん水）
- ② 穂ばらみ～出穂期は最も水を必要とするので3～4cmの深水にする

3) 病害虫防除

液剤体系	時期	ウンカ・カメムシ	トレボン乳剤	1,000倍	14日-3回
		7月下旬～8月上旬	紋枯病	モンカットフロアブル	1,000倍
出穂直後（8月中旬）	いもち	ダブルカットフロアブル	1,000倍	穂揃期まで-2回	
	ウンカ ツマグロヨコバイ カメムシ	キラップジョーカーフロアブル	1,000倍	14日-2回	
乳熟期	いもち・穂枯れ	ブラシンフロアブル	1,000倍	7日-2回	
	カメムシ発生多い場合	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	7日-3回	
粒剤体系	7月下旬～8月上旬	ニカメイチュウ コブノメイガ ウンカ	パダントレボン粒剤L劇	3kg/10a	30日-3回
		いもち・紋枯病	オリブライト1キロ粒剤	1kg/10a	出穂10日前まで1回
	出穂直後（8月中旬）	カメムシ・ウンカ ツマグロヨコバイ	スタークル粒剤	3kg/10a	7日-3回

※ コブノメイガが多い場合はロムダンソル 1,000倍-21日前-2回以内

※ 粒剤は散布後、3～5cmの湛水状態を5日間保つ

※ 水田への薬剤散布後7日間は落水、かけ流しをしないようにしましょう！

★ジャンボタニシが増加傾向です。卵を水に落とす、貝を捕殺するなど、地道な防除が大切です。

いちご

長雨明けの急激な晴れによる高温は苗に対する大きなダメージになります。灌水量の確認だけでなく、遮光資材や遮熱資材を使うなど高温対策をとるようお願いいたします。また、体調管理に十分注意したうえで、作業されますように重ねてお願い申し上げます。

1、育苗管理 「炭疽病の恐れがある株は早期に除去しましょう。圃場は毎日一回りです。」

- ・切り離しは先端を止め、親株を切り離し、太郎から順番に切り離していくことで子株に対するストレス軽減につながります。（数日に分けて切り離しましょう。）
- ・7月下旬～8月上旬までに切り離しを行うのが理想です。（育苗日数：40日～50日）
※但し、最終ポット受けから20日は切り離ししないようにしましょう。
- ・切り離し後にはIB化成S1号を施用（1粒/小型ポット）
- ・切り離し後、苗をそろえるよう常時2～3枚を目安に葉かきをする（定植時は4～5枚）。
- ・苗の間隔をとり、風通しをよくする。
- ・急激な晴れや、高温の時間帯には寒冷紗をかけると良い。
ハウスに外から塗布するタイプの資材（レディヒートなど）もお勧めです。

2、育苗圃防除ローテーション（先月号の続き）

時期	薬剤	RAC	倍率	回数	主な対象病害虫
8月1週目	ジマンダイセン（水）	M3	600倍	3/6	じゃのめ・炭疽
	エコピタ（液）	—	100倍	—	ハダニ・うどんこ・アブラムシ
8月2週目	オーソサイド（水）80	M4	800倍	3/3	炭疽
	バロック（フ）	10B	2000倍	1/1	ハダニ
8月3週目	セイビア（フ）	12	1000倍	2/3	炭疽
	エコピタ（液）	—	100倍	—	ハダニ・うどんこ・アブラムシ
8月4週目	ベルコート（水）	M7	1000倍	4/5	うどんこ・炭疽
	ファルコン（フ）	18	4000倍	2/3	オオタバコガ・ハスモンヨトウ
8月5週目	サンリット（水）	3	2000倍	1/3	炭疽・うどんこ
	ポリオキシNAL（水）	19	5000倍	1/3	ハダニ・うどんこ・アザミウマ

茶【病害虫防除】

◆7月下旬～（防除適期は圃場環境によって異なります。）

クワシロカイガラムシ 2回目発生	アブロードエースフロアブル	1,000倍	単用（14日）
	スプラサイド乳剤劇	1,500倍	単用（14日）
	コルト顆粒水和剤	2,000倍	単用（7日）

◆3番茶萌芽期～1葉開葉期

炭そ病・もち病・新梢枯死症	フロンサイドSC	2,000倍	混用
ウンカ・スリップス	コルト顆粒水和剤	2,000倍	（14日）

◆3茶生育期

炭そ病・もち病・褐色円星病	インダーフロアブル	5,000倍	混用
スリップス・ハマキムシ類	ディアナSC	5,000倍	（7日）

※ウンカの発生が懸念される場合は、ディアナに変えてリーズン顆粒水和剤（2000倍）とする。

◆8月中下旬（発蛾最盛期の7～10日後）

ハマキ虫類（ヨモギエダシャク）	ファルコンフロアブル	4,000倍	単用（7日）
-----------------	------------	--------	--------

※ファルコンは若令幼虫期に使用する。時期を逸した場合は、アフーム乳剤 2,000倍（7日）に代える。

【一番茶後更新圃の整枝】

時期：再生芽が平均15cm（5～6枚）になり葉色が濃くなった頃（更新後60日）

※日数よりも芽の大きさを優先し、7月までに整枝できない場合は、秋整枝にして下さい。

位置：更新した位置より5cm程度（2～3枚残す）上で整枝して下さい。